

”環境共生社会”を共創するヨコハマ未来創造会議
神奈川大学道用ゼミ × 株式会社ダイイチ
“紙糸”を活用した暑熱対策プロダクト開発スタート
～ 横浜発、若者×企業 の環境共生・共創プロジェクト第一弾 ～

ヨコハマ未来創造会議（所属：横浜市）は、神奈川大学道用ゼミの学生をメンバーに加え、株式会社ダイイチ（本社：神奈川県横浜市／代表取締役：花本 こず枝）と共に、断熱性などの特性を有するアップサイクル素材「紙糸」を活用した暑熱対策プロダクト開発プロジェクトを2025年6月6日より開始します。横浜で開催される「**GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）**」に向け、環境共生社会の実現を目指し、未利用資源の循環と年々激しさを増す暑熱環境への適応策として、若者と企業が一体となって取り組んでいきます。



■本プロジェクトの目的・概要

「**GREEN×EXPO 2027**」の開催を契機に立ち上げられたヨコハマ未来創造会議は、将来社会を担う若者が、横浜に集う企業や様々なステークホルダーと連携し、環境共生社会の実現に向けアクションを共創するプログラムを今年度より展開しています。

本プロジェクトはその第一弾として、サステナブルデザインの視点で活動する神奈川大学道用ゼミと環境配慮型ユニフォームを手がける株式会社ダイイチが、アップサイクル紙糸を活用し、資源循環による環境負荷低減と、「**GREEN×EXPO 2027**」においても喫緊の課題である暑熱環境（※1）への適応を掲げ、持続可能な環境共生社会の新たな形を模索していきます。

※1 「暑熱環境」：熱中症のリスクが存在する環境

■道用ゼミ×ダイイチ 「紙糸 × 暑熱対策プロダクト開発」

プロジェクトのテーマは、“地産地環（※2）”した紙糸を活用した暑熱対策プロダクト開発。「**GREEN×EXPO 2027**」会場の玄関口である瀬谷駅周辺を実証フィールドに、道用ゼミの学生が持つ創造力と行動力、ダイイチが手がける素材と技術をかけ合わせ、暑熱対策プロダクトを共創します。

※2 「地産地環」：地域で産出された未利用資源を地域内で循環し、環境配慮しながら活用すること

今回活用するのは、リサイクル率の低い使用済みの紙パッケージと未利用の間伐材をアップサイクルして作られた環境配慮素材“紙糸”。「TSUMUGI（※3）」と名付けられ、すでにネスカフェ原宿などの店舗ユニフォームにも採用されています。

本プロジェクトでは、資源の“地産地環”をコンセプトに置き、学生が市内で集めた紙パッケージと横浜市が保有する水源林で発生する間伐材を用いた紙糸を製作。学生たち約20名が5チームに分かれ、この紙糸が有する「断熱性・通気性・軽量性」といった特性を活かした次世代の「暑熱対策プロダクト」の共創に挑戦していきます。

※3 紙糸「TSUMUGI」について：

<https://tsumugi-upcycle.com/>

▼事前打ち合わせの様子



■今後の活動のスケジュール

日程	内容
6月6日	アイディエーション開始
6月下旬（予定）	プロトタイプ制作・中間レビュー
7月中旬（予定）	合評会にて最終プレゼンテーション
9月中旬（予定）	瀬谷駅での実証実験

ヨコハマ未来創造会議について

ヨコハマ未来創造会議は、「GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）」の開催を契機に、20年・30年先の社会を担う現在の大学生や企業の若手社員の若者が、環境にやさしい生活や社会を目指して、議論し、アクションを起こすきっかけとなる会議体（プラットフォーム）として発足しました。横浜に集う様々なステークホルダーと連携し、将来社会の担い手となる若者たちのアイデアと感性を生かしアクションを共創する。企業や地域のみならずと創意工夫を重ねながら、環境と共に生きる未来に向けて行動変容を生み出していきます。



●ホームページ：<https://next-gen.city.yokohama.lg.jp/>

■株式会社ダイイチについて

株式会社ダイイチは、1953年に白衣の製造販売会社として創業し、設立から70年を迎えました。現在では、ユニフォームの企画・製造・販売を通じて、企業ブランディングや求人对策、社内活性、地域貢献など多くの企業課題の解決を目指しています。

- 設立：1953年5月
- 所在地：神奈川県横浜市中区宮川町3-89
- 代表取締役社長：花本 こず枝
- ホームページ：<https://www.un-daiichi.co.jp>

DAIICHI
株式会社ダイイチ

■神奈川大学 道用ゼミについて

「誰もが自分の創造力を発揮できる社会」の実現を目指し、サステナブルデザインの視点から活動しています。商業的価値にとどまらず、人間的で持続可能な価値創造を重視し、廃材利用や省エネ家電の開発、福祉支援デバイスの制作など幅広いプロジェクトを展開しています。

- ホームページ：<https://doyolab.net/>

